

心耕

こころ

雪が降り積もる。子供は喜びはしゃぐ。コロナ吹っ飛ばー!!

今月の行事

昨年暮れには治まって
くれるかと思われたコロナ、
オミクロンという新型の
登場で大流行となりま
した。

よ。て、西光寺での法座
(十二日、第四日曜)と、勉
強会、写経などの集まり
は二月一杯お休みにしま
す。御農朝(おとむらぎ)は変
ありません。法事も変わり
ません。嫌なことですが、
御了承下さい。 任取

新年から表紙を変えようと考
ていたのだが、ゆくり構えてい
たら間に合わなくなった。善は急
げと言われるが、そうはいかない
現実がある。サツとすれば済むこ
とをグズグズ先延ばすつもりがあ
る。

去年、今年と箱根の駅伝をほ
見ることができた。元日会から身
内の集りを小さめ、飲食を止め
たからだ。寂しい観戦。
幼い子供の端々しい笑顔。日焼
けたシワだらけの年寄りの笑顔。
一緒にあった昔の田舎のお正月。
旧暦十一月二十八日は親孝聖人
の御命日。御正忌報恩講。新暦の
正月と度々重なった。でもその頃
の正月は旧暦で新暦にならずと二
月の初旬。今でもアジアではそう。

西光寺の心耕

ふみはずしましたが

気がつけばこども

仏の道でございました

榎本榮一著『難度海』より

榎本さんは明治三六（一九〇三）年淡路島に生まれ、家族とともに大阪へ出て、家業の化粧品店を手伝っておられました。昭和二〇（一九四五）年、大阪の大空襲で淡路に帰られ、昭和二五（一九五〇）年、東大阪市の商店街で化粧品店の商いを始められました。昭和五四（一九七九）年、難聴が悪化し商いにも不自由をするようになり閉店（得意先とは細々と営業）されました。御往生は平成一〇（一九九八）年です。榎本さんは商いをされている頃から平易な言葉で仏さまの御恩の深さを短い詩に綴ることをされていきました。難度海より詩をいくつかご紹介します。ルビはふりません。

道づれ

今日も

如来さまは

この足弱き私の

道連れになつてくださる

この道 平坦ではありません

ふどころ

阿弥陀さまのふどころで

私はあきないもします

自転車にも乗ります

お酒もいっぽん

いただきます

仏の道

今月の言葉です。

凡夫の眠り

明りけして

眼をどしたら

この三畳の間が

このまま阿弥陀さまのふどころ

鬼籍

き せき

時折、著名な方が亡くなられるとメディアで「鬼籍に入られま

過去帳

した」という事があります。これを初めて字で見た時に疑問に思いました。何故鬼の籍と書くのだろうか。

調べると「鬼」という字は様々な意味が含まれていることがわかったのです。広辞苑で「鬼」と引きますと、

- ① 悪神、邪神
- ② 伝説の山男や異種族の者
- ③ 死者の霊魂
- ④ 怪物、もののけ
- ⑤ 想像上の怪物（赤鬼青鬼など）
- ⑥ 鬼のような人
- ⑦ 毒見役
- ⑧ 紋所
- ⑨ 名詞の上に付き、勇猛さや無慈悲を表す（鬼武者など）

と出てきます。これらの中では「鬼籍」の場合には③の意味が合いそうなのですが、少し違和感があります。

今度は日本で「鬼」の語源を調べるとよくわかったのです。「おに」は「隠」の訛りであると。字の通り「見えないもの」ということなのです。つまり「死者」ということです。

死者の籍に名を連ねたということが「鬼籍に入る」と

いうことがわかりました。ここから

「鬼籍簿」死者の名を記す帳面が派生

し、現代では「過去帳」となったのです。



コロナ禍でそ
でまる子供会
考えましたよ
孝佳

こんなところに 仏教用語

用教仏近
語紹介
います。

北枕

約二五〇〇年前の二月五日、お釈迦様が入滅をされる時沙羅双樹の元で、頭を北側に顔を西向きにして、右脇が下側

に来るように横になりました。このことから、ご遺体を北向きするという風習「北枕」が始まったと言われます。だからといって北枕に必ずしもしなければならないという事ではありません。むしろ、普段北枕で寝るのは死者の寝る方角だからやめなさいと気にされる方が時折おられます。これは死を不吉と見る悲しい生き方をしておられる方のお言葉です。全く気にする必要はありません。

この反対に、北枕は健康にいいという言い方もあります。頭寒足熱、頭は冷やして足は温める。北は寒い、南は暖かい。そして右を下にすることは心臓が上に位置することから血流もよくなる・・・という説を唱える方もおられます。

ここで私自身書いていて疑問が生じました。お釈迦様の入滅のお姿を根拠として「北枕」が始まりましたが、そもそもお釈迦様が北枕にしたのは何故なのか。どうやら古代インドの風習で「北枕」にしていたようですが、それがどうしてなのかが、まだ分かりません。



京都（本山 報恩講）

観音菩薩と勢至菩薩に連れられて本山に行つてまいりました。昨年の状況は分かりませんが、従来とは異なり閑散かんさんとしていました。寂しい限りです。堂内に入つてお参りできるのは、百五十人までの予約制でありました。私たちは住職と坊守と五人で一番札から五番札で、御影堂の真ん中、阿弥陀如来の御前おんまえにて行事に参加いたしました。座席にはまだ多くの空きがありました。例年の迫力は、やはり!! しかし蓮如上人以前の本願寺の報恩講ほうおんこうもこのくらい寂しかったんだろうと想像してしまいます。

夜は住職の紹介で美味しい美味しい懐石料理を頂きました。そこから眺める京都の夜景は素晴らしい素晴らしいものでした。清水寺の三重塔さんじゅうとうがライトアップされて、夜空中で朱色あかが際立っていました。

翌日早朝御晨朝そうごじんじょうに参りまして前門様まへかどさまご臨席のもと「讚さん仏偈ぶつげ」と「般舟讚はんじゅうさん」をお称えしたところです。この後は通常の法話がカットされ、いつも通りの「御俗姓ごぞくしやう」が読み上げられ、最後に「聖人一流章」で締めていました。例年ですと阿弥陀堂で「阿弥陀経」を称え、引き続き御影堂ごえいどうに移つて「往生礼讚偈らいざんげ」を称え、法話、御俗姓、御文章

と続いて「おかみそり」となります。本年はオミクロン株の影響で時間を短縮したものと思われれます。

めつたにないことです。この「おかみそり」に地福さん一人が主役だったのです。「おかみそり」とは生きているうちに釈はうみょう〇〇という「法名」を頂く帰敬式ききやうしきであります。たった一人の為に本山おんざんの職員を総動員し儀式ぎしきの準備を滞りなく済ませ、前門と対面し、目と目を合わせ厳おそかに進められました。志賀さんと住職と私は後ろでじつと見ていました。法名が寒いこと寒いこと、やはり冬の京都は寒いのです。法名を頂くことは、門徒もんたとしての重要な心構えで身が引き締まる思いがするものです。法名を頂かれていない方は是非とも西光寺に相談してみてください。

この後は京都の名所を雪のちらつく中あちこちと見てまいりました。観光客が少ない所せ為で市内バスは順調で多く回れました。観音と勢至はどことなく若返ったようであり、笑いながら歩き回って、さぞかしお疲れのこととお見受けいたしました。夜は住職、坊守、観音、勢至とロシアへ行ってピロシキを頂いたことです。フコースナフコースナてスパシーバ。

翌日は御晨朝を終えて大谷派おほやを参拝し、京都駅で頼まれた土産みやげを買つて帰途ききに着いたのです。また来年も!

法座案内

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・写経会

休み

・壮年会・婦人会主催の勉強会

休み

二月の法座は中止です

・youtube 西光寺チャンネル更新

節談説教を配信しました！その他経、ドキュメント、正信偈等もあります



・愚痴聞き場「あみだぐち」

若手僧侶で愚痴聞き場をラインで提供しています。以下からアクセス！



・お参りについて

感染症予防にご協力をお願いいたします。

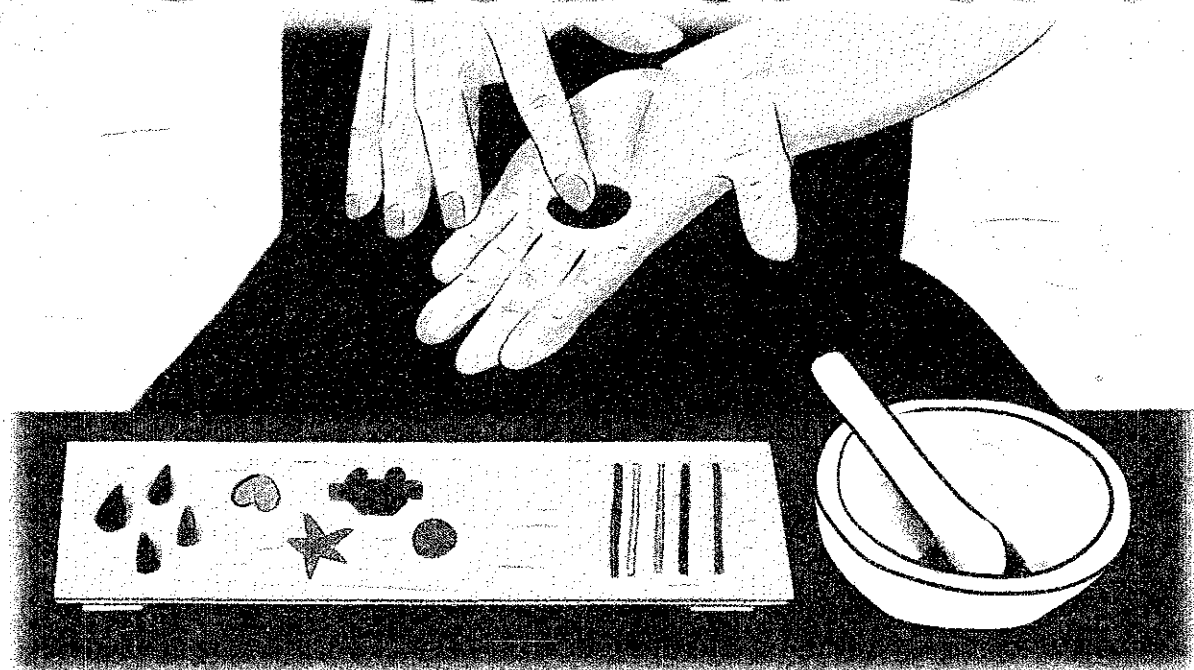
・法事について

法事等は受け付けていますので、ご相談下さい

年回表	往生年	西暦
一周忌	令和三年	二〇二一年
三回忌	令和二年	二〇二〇年
七回忌	平成二八年	二〇一六年
一三回忌	平成二二年	二〇一〇年
一七回忌	平成十八年	二〇〇六年
二三回忌	平成十二年	二〇〇〇年
(二五回忌)	(平成十年)	(一九九八年)
二七回忌	平成八年	一九九六年
三三回忌	平成二年	一九九〇年
五〇回忌	昭和四八年	一九七三年

春休みオンライン寺子屋企画

お家で線香作り体験



初のオンライン寺子屋企画です。お家で線香作りをしていただきます！
希望者に線香作りキットを郵送し、動画配信でオリジナルの線香を作ります。
作り方は簡単、小さいお子様でも安心して作ることが出来ます。

日時：3月20日（日）

10：00～ 配信開始
（以降いつでも見れます）

配信元：YouTube「西光寺チャンネル」

西光寺チャンネル QR コード→



参加費：こども 無料

締切：予定数に達し次第

内容：読経、仏教紙芝居、線香作り

予約方法：（下記のいずれか）

- ・電話 0436-22-7412
- ・メール saikohji@saikohji.net
- ・子ども会公式ライン

子ども会公式ライン QR コード→








予約から配信当日までの流れ

- 1, 西光寺に予約
予約方法を参考にして下さい
- 2, 3月上旬
登録住所に郵送でキットが届く
- 3, 3月20日10：00～
配信開始 以降「西光寺チャンネル」にていつでも見ることが出来ます

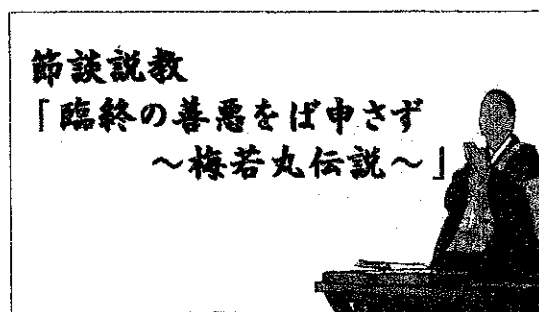
主催
浄土真宗本願寺派西光寺
市原市根田 723-1







▶ 西光寺チャンネル

<p>西光寺チャンネル</p>	<p>西光寺チャンネルと検索するか、右のQRコードで見ることが出来ます。</p>	
<p>新作！ 節談説教 「臨終の善悪をば申さず ～梅若丸伝説～」</p>	<p>親鸞聖人のお手紙にある「臨終の善悪をば申さず」をテーマに、平安時代の梅若丸の物語を基にお取次ぎ</p>	
<p>準新作！ 仏教紙芝居 「龍王とガルーダ」</p>	<p>怨みや怒りの心を鎮めたいと願う龍王に、宿敵ガルーダが攻めてくる。その時龍王は… ひらがな・英語字幕付</p>	
<p>お家で読もう正信偈草譜</p>	<p>日常読まれる正信偈草譜を、偈文・ふりがな・意識付きで公開。日々の勤行にお使いください。</p>	
<p>お家で読もう正信偈行譜</p>	<p>命日などで読まれる正信偈行譜を、偈文・ふりがな・意識付きで公開。命日などにお使いください。</p>	



公式LINE



	<p>西光寺公式アカウント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お寺の様々な行事などの情報をお届け ・各種ご相談 	
	<p>子ども会公式アカウント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供向け行事の案内 ・予約の受付 	
	<p>あみだぐち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉の若手僧侶で運営する愚痴や不安などを聞く場所 	

住職多感

一月 十七日、御晨朝にNさんがお参りされた。始めてのことで、お勤めの後話を聞いた。暮れの 十七日、郷里ですぐ上の二つ違いの兄がなくなり、帰りたいが帰れないので西光寺さんに参らせてもらったと言われる。

北海道・函館の出身でほとんど帰ったこととはなく、息子の結婚で会ったくらいかなあと遠くを見るような目で話される。何十年も顔を合わせていなかった。それがなくなったという知らせを聞いてひと月、ふと兄を思う気持ちにせかされて西光寺を思い出してくれたのだ。ほっと安堵した顔で有難うございましたと自転車で行かれた。

後姿を見送って本堂に戻り壁にかけてある三百余名の建設協力者の木札を眺めながら、いい本堂を建ててもらったなああと二十年の昔を思った。多くの方は既にお浄土に

還られた。しかしその本堂を建てた志がしっかりと息づいていることを改めてNさんに教えてもらった。

全国各地から集まった市原の真宗門徒が、とにかく力合わせて道場を作ろう。皆で作ろう。遠慮なく出入りできるお寺を作ろうと結束して西光寺を建てた。建設資金を募った。私も借金をした。そして平成十五年、西光寺の本堂が建ち上がった。

しばらくして、本堂を使う時の使用料の話になった。私の実家であるお寺の話をして一切取らないと決めた。「前に行くものは後を導き、後から行くものは前を訪ねて繋がり繋がりしていこう」古い言葉にある。皆平等なのだ。祖父が何かの記念碑に遺している。念仏の伝統、浄土真宗の伝統、本願寺の伝統、郷里の伝統。それが西光寺にも引き継がれている。Nさんの、兄に促された御晨朝のお参りは、西光寺の歩みが確かに続いていることを教えてくれた。

三月の行事

。十二日 常例法座

。二十・二十一・二十二日

春季彼岸会

。写経会 第二金曜会

。勉強会 第一木曜・十二日

お慶きと草刈り 来日者ご案内

おあこがれ
御晨朝 毎朝 六時半
ごいんじょう
一年中

発行

浄土真宗本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三十一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP. <https://www.saikohji.net>

MAIL saikohji@hb.tpl.jp